

## 地域住宅生産者グループ いごこちの良い空間

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
いわき いごこちの良い空間	県中・いわき

### グループの特徴とメッセージ

当グループの住宅は近年の住宅メーカーに比べ、再生可能な自然素材である木材をふんだんに使用した丸太組構法で、丈夫で環境にも優しい全く新しいタイプの木の住まいです。一般にログハウスと呼ばれる住宅の欠点でもあった壁面からの雨水進入も、代表会社製造の集成ログ材（国土交通省の防火認定取得）を採用する事により格段に改善が図られています。

当グループはお施主様の住宅に関わる各種ご相談から、構造計算・確認申請等の各許認可、施工における基礎工事、付帯工事から木材・建材等の資材供給、またお引き渡し後の定期点検等に至るまで、全てグループ企業で対応が可能です。

### グループの基本情報

グループ名称	いごこちの良い空間
所在地	福島県いわき市常磐 下船尾町杭出作170
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	原木供給・施工
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計32社 原木供給 : 2社 製材 : 2社 建材流通 : 2社 プレカット : 2社 設計 : 3社 施工 : 12社 その他 : 9社
代表者名	菊地守男(株式会社キクモク 代表取締役社長)
主な受賞歴・ 活動内容等 (※グループ内構 成員受賞歴)	・平成9年集成材 JAS 認定 取得(平成19年集成材 JAS 使用環境 A 認定取得) ・平成20年丸太組構法外壁 防火認定取得 ・平成22年 PEFC 認証取得

### 地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造丸太組構法
価格帯	850～1,500万円
価格の基準面積	50～100㎡
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 諸経費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

### グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	50戸
うち地域材活用の住宅	35戸
うち長期優良住宅	5戸
グループとしての 施工実績	なし 戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	50戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	新規グループ。代表会 社のログハウス中心 に活動。グループ全体 では、長期優良住宅の 建築実績もあり、施工 技術もレベルが高い。

\*参画する施工業者の建設戸数の合計

### 連絡窓口

担当者名	高部輝生	メール	teruo-takabe@kikumoku.jp
電話番号	0246-43-1234	FAX	0246-43-1235
ホームページ	<a href="http://www.cozy-l.jp/">http://www.cozy-l.jp/</a>		
自由記入欄	住宅に関しては、 <b>フリーダイヤル0120-45-1169</b> をご利用下さい。		

地域型復興住宅

いわき いごこちの良い空間

地域型復興住宅のイメージと特徴

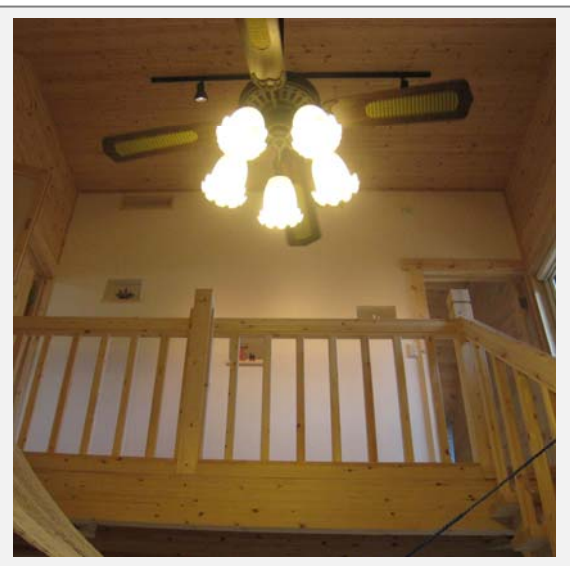
■心地よさを追求した快適な住まいづくり

・壁の構造1つをとっても、通常の住宅では外壁材、断熱材、石膏ボード、クロス等内装材で構成されるところ丸太組構法では新建材の類は1つもない。住むだけで環境配慮に貢献できるほか、シックハウス回避等の健康環境、「木」本来が持つ調湿効果等による室内環境の良さから、何とも言えないいごこちの良い生活を送れる。

■木を活用した環境に優しい家づくり

・木は数ある住宅資材の中でも数少ない再生可能資源であり、それらを多様する事により地域環境はもとより地球環境配慮にも貢献する。

・丸太組構法はその構造材だけでも在来工法の約3倍の木材使用量があり、更には羽柄材・仕上げ材など使用部位によりその木材を使い分ける事で地域木材流通、県内林業の活性化に貢献する。

代表的事例の概要

構造	木造丸太組構法	床面積	1階：59.5 m <sup>2</sup> 2階：45.62 m <sup>2</sup>
設計	J1 建築設計事務所	施工	株式会社キクモク
施工費	1500万円（設計費用は除く）	備考	自由設計可

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

## ■従来のログハウスの概念に囚われない住まいを提案

- ・ 1階部分は丸太組構法でありながら、小屋組は軸組金物工法とする事で小屋裏2階部分の可変性が高い。
- ・ 代表会社設計を筆頭に設計グループでは意匠設計・構造設計など担当分けする事で効率化を図る。
- ・ 構造材は代表会社製造の集成材を使用する事で強度、製品の安定化を図り、内装材には樹種や産地などお施主様の意向を反映する事が可能。

## 主に活用している地域材について

地域材の名称	いわき材
樹種	杉
産地	福島県いわき地域
認証制度等	丸太組構法外壁防火認定
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	ログ材・構造材・羽柄材仕上げ材
自由記入欄	地域型復興住宅ではいわき材を30%以上活用した住宅を供給目指します。また、100%いわき加工を行うため地域活性に活かされます。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

## ■歴史が証明するその性能及び施工の容易性

- ・ 木が持つ調湿効果、断熱効果、音響効果、森林浴効果、比強度が強いなどの様々な特徴は、四季折々の特徴があり地震が多いなどの日本特有の気候風土に合った住宅資材と言え、その実績は日本各地で現在も見られる神社仏閣等の歴史的建造物に裏打ちされている。その耐久性はもちろん、例えば耐震性で言えば地震力は重さに比例するため、鉄やコンクリートと比較して比強度が強い木は日本のような地震大国では大変有利である。火災時の安全性は、火災死亡原因の1位が焼死ではなく一酸化炭素中毒である事から見れば、有毒ガスが出ず表面炭化により構造部の倒壊を防ぐ木を構造材や仕上げ材に使う事は大変安全だと言える。これらを踏まえ今後、長期優良住宅等の法的認定基準との照合を図る。
- ・ 丸太組構法の施工は構造材の支口加工やボルト穴加工が正確に加工されていれば、基本的には単純に木を積み上げていくだけの大変容易なものである。その加工（プレカット）を代表会社筆頭にグループ企業で行う事で高効率化を図るとともに、その加工製品は構造材だけに留まらず内部建具や階段、下駄箱などまでに及ぶ。施工は、シンプルでかつ効率的な作業も可能であることから、地元で更なる施工部隊の構築など新たな雇用の創出に繋がる。





## 地域住宅生産者グループ いこちの良い空間

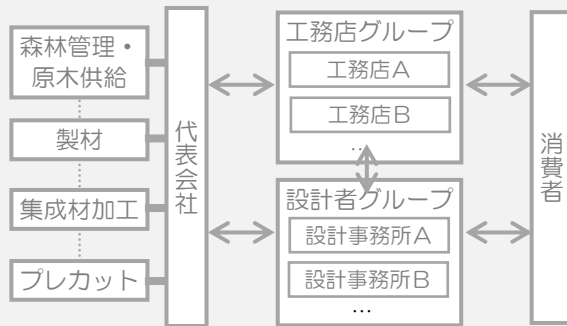
### 地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

#### ■木材自給率を高め流通資材の簡素化

・代表会社自体が5万㎡/年出荷する集成材工場であり地域での実績も長いため、原木・製材・PC等木材関連グループの横の連携も構築されており木材の供給に於いては何も不安がない。その木材を構造材・羽柄材・仕上材・内部建具で利用する事で木材自給率を高め、その結果、流通部材点数の簡素化、しいてはトータルのコストダウンに繋がる。



いこちの良い空間グループの体制



### 施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

#### ■各種ご相談体制

- ・365日対応可能（一部電話対応）であり、場所は代表会社事務所若しくはお施主様のご希望の場所へ訪問対応する。
- ・代表会社自体が建設業登録・宅地建物取引業登録を有しており、土地探しから設計・施工・資金計画のご相談など、幅広く対応する。
- ・代表会社を窓口設計・施工グループ企業に対応を依頼する。



#### ■保証・維持管理体制

- ・住宅瑕疵保証  
日本住宅保証機構「JIO」により10年間保証される。
- ・地盤保証  
ジャパンホームシールド「JHS」により10年間保証される。
- ・丸太組構法特有のメンテナンスについては2年で3回の定期点検、以降定期訪問にて対応する。

当社の住宅は消費者を保護する  
住宅瑕疵担保履行法に対応した保険付き住宅です。

現行住宅責任保険  
「JIOわが家の保険」

【新築住宅の保険のしくみ】

住宅取得時 → 保証期間 → 事業者

保証期間満了 → 不実行時 → JIO

住宅瑕疵担保履行法

国土交通大臣指定 住宅瑕疵担保履行検査機関  
株式会社 日本住宅保証検査機構 (JIO)  
東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 03-5541-4010

●この保証は事業者が責任者となる保証です。 JIO 03-5541-4010